

文芸とうかい

【俳句】

ホトトギス鳥とは違い茶花かな

外宿 井坂 正一

母居れば生姜湯飲めと言う時季か

南台 渋谷ひろし

おいらせや溪流ウオーク紅葉見つ

豊白 東海林笑湖

法師蟬帽子目深に寺参り

船場 庭田紀久子

朴落葉縄文の世の色かとも

駅東 中原 正子

鰯雲記憶おぼろになる齡

緑ヶ丘 内田 芳勲

秋時雨へし合う絵馬や新勝寺

村松北 小野寺紀夫

丸出しに冬至南瓜を食う日なり

村松 大内たけみつ

冬浅しまだ間に合うと旅便り

村松 堀木 純子

【短歌】

孫たちもみんなすくすく明るくて

白方中央 寺島 功夫

望みどりに成長したり

白方中央 寺島 功夫

人生の楽園とまでゆかなくも

外宿 小林美代子

食事ができる小さな幸せ

キンモクセイの漂う香りに秋を知り
肩をすぼめて来し方を見る

白方中央 鈴木 忠和

一心に指揮をとる孫しなやかに
動く両腕動画に見入る

外宿 井坂 愛子

しみじみと語りてうれし誕生日

外宿 井坂 愛子

九十一の祝の膳よ

船場 根本 ちる

雨の日の窓越しに咲くコスモスは

船場 根本 ちる

白やピンクの鮮やか冴えて

照沼 佐藤 昇

旧友が来て坊がつる賛歌くちづさむ
想い起せり若かった頃

緑ヶ丘 福地美智子

白菜の誇れる畑かつて見た
今朝は雑草にて荒れる侘しき

豊白 梅津 秀雄

文化祭心ゆさぶる歌ありて
三十一文字総べてあたたか

須和間 柴山 靖子

友の来て初めて知るやわが村の
令和生まれの歴史館なり

白方中央 海老根ヨシイ

一行でも書ければいいと言いつ聞かせ
秋晴れの日に五年日記買う

白方中央 海老根ヨシイ

落花生穫りたるあとのわが畑に
鴉群がる寒のする朝

駅西 大貫はるみ

船場 野々道 歩

STATION GALLERY

場所▼JR東海駅(ギャラリーA…駅舎2階、
ギャラリーB…駅舎1階)
問い合わせ▼東海駅コミュニティ施設管理室(☎287-3680)

「墨游展」

高校の教員として指導を行う中で試行錯誤した経験を、“書”として表現した作品を展示します。皆さんの心に残る数々の力作をご覧ください。

期間▼12月15日(日)～21日(土)

時間▼午前10時から午後6時30分(最終日は午後2時30分)まで

場所▼ギャラリーA



参加者募集!

東海村の作家展2025 「ワークショップ“筆文字”を楽しもう！」

「東海村の作家展2025」(令和7年1月19日(日)～31日(金)開催)の関連企画として、書のワークショップを開催します。出品作家の指導により、手本を見ながら、はがきサイズの画仙紙に筆文字を書きます。この機会にぜひご参加ください。



日時▼令和7年1月19日(日)午後2時～3時

場所▼ギャラリーB

対象等▼小学生以上の方(先着15人)

参加費▼無料

申し込み▼12月14日(土)午前9時以降に、東海駅コミュニティ施設管理室へお越しの上、申し込みください。空きがあった場合のみ、12月14日(土)午前11時から電話(☎287-3680)での申し込みを受け付けます。